

# Letters

レターズ / 加入者や保護者の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

## 東京都

### A・Mさん（母）

長い間、ご支援いただき本当にありがとうございます。

当時、3歳だった娘は今年無事に第一志望の大学へ入学することができました。これも今までご支援いただいていたからこそと、感謝しています。

今までに体験したことのない、新型コロナウイルスという感染症の影響で、卒業式も入学式もない春を過ごしました。大学に通うこともないままオンラインで授業を受け、秋になりやっと週に何度か通っています。

たくさんの方々のご支援を受けてまいりましたので、これからは少しでも支援できる立場になれるよう頑張っていこうと思います。

たくさん思い出もできました。本当に色々ありがとうございました。

## 群馬県

### S・Yさん（母） S・Kさん（加入者）

♡お母さまより

この度は長女が5年間お世話になりました。

主人が交通事故で亡くなった時、娘たちは中学2年生と生後7か月になったばかりでした。何とか子供たちを育てるために、色々な制度を調べ、この基金を利用させていただきました。

時には子供たちに助けてもらいながら毎日頑張って生活しております。この基金は子供たちの将来のために安心できる制度です。今後は次女だけになります。が、よろしくお願いいたします。

♡加入者さまより

今まで5年間ありがとうございました。この基金に支えられ、無事大学にも進むことができました。

## 匿名希望さん（母）

次男の高校入学にあたり、橋本給付金のお祝いをごささりありがとうございました。入学準備に活用させていただこうと思います。

次男本人は受験から解放された解放感で遊んでばかりで、親子喧嘩も絶えませんが（原因は、生活態度、スマホに熱中、口の利き方等々…挙げたらきりが無い）、これも大人になっていく必須過程なのだと自分に言い聞かせ、言いたい小言を半分程度に収めながら日々過ごしています。

長男、次男ともあまり手がかからなくなってまいりましたので、そろそろ子供たちの独立した後、私自身の生活を楽しめるように家でできる趣味を持ちたいと思っています。

この度は本当にありがとうございました。皆さんもお体にお気を付けお過ごしください。

## 愛知県

### S・Kさん（母）

この度、長女が19歳となり育成給付金完了のお知らせをいただきました。

長女が3歳、次女は生後1か月半だった時、主人が事故で亡くなり、当初は朝起きると今は夢の中なのか現実なのかと、しばらくぼうっと考え、現実なのだと確認すると夢であってほしかったといつも泣いて、泣きすぎて、涙が枯れるほど涙しました。

あれから16年、長女は現在美容師になるため専門学校へ、次女は第一志望の高校へ毎日楽しそうに通っております。そんな娘たちと今では笑いの絶えない日々を過ごしております。

大変なこともたくさんありましたが、交通遺児等育成基金のおかげで教育費のことは何の心配もなく安心して生活を送ることができました。本当に長い間私たち家族を支えて下さり、ありがとうございました。





## O・Rさん（加入者）

母からこのような制度に加入し、長い間支援を受けていたと教えられました。

物心ついてから、父のいない生活が当たり前だったので、特別悲しい思いをしたことはありませんでしたが、それはこのような制度や母や周りの大人たちが僕を守ってくれていたからなのだと改めて認識しました。

本当にありがとうございました。

## 千葉県

### O・Nさん（母）

18年間という長きに渡り、大変お世話になりました。事故は一瞬にして大切な人、なくてはならない人、家族の生き方までも失くしてしまいます。

3人の子供、10歳、7歳、1歳と自営業で義父母との同居と、何から考えどう生活していけばいいのか、当時を振り返ると、この18年間は長くもないが短くもない、一日一日懸命に過ごした感じです。3人の子供たちは素直に育ってくれて今は頼もしい存在です。そして、交通遺児等育成基金のバックアップは大変ありがたかったです。もう少し頑張って生きていきます。



## 福島県

### K・Jさん（母）

この度無事に娘が19歳を迎え、交通遺児等育成基金から巣立つことになり時の速さを感じております。6年前に主人が突然亡くなり、これからどうやって生きていこうかと不安だらけでしたが、たくさんの方々に支えられ、温かく援助していただけたことで子供たちと前向きに生きてこられました。

娘は高校卒業後、将来の夢実現のため専門学校へ進学し、充実した学校生活を送っています。不安なく進学できたのも、基金のおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。お送りいただいた図書カード、完了給付金は大切に使用させていただきます。

息子は高校一年生なのでまだしばらくお世話になります。今後ともよろしくお願いいたします。



## 群馬県

### K・Aさん（加入者） K・Nさん（母）

♡加入者さまより

この度は交通遺児等育成基金終了のお知らせをいただきました。長年お世話になり、ありがとうございます。ありがとうございました。

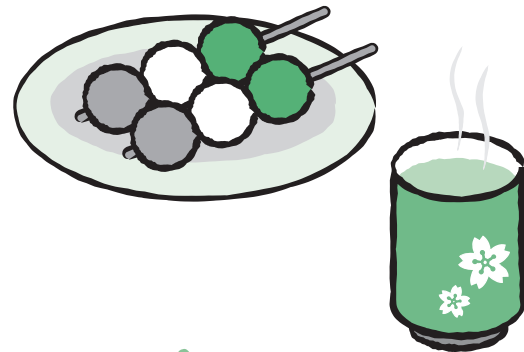
私は去年から大学に入学し、実家を出て一人暮らしを始めました。現在はコロナの流行により授業はリモートで行われていますが、コロナが収まり、実習やサークル活動が始まることを心待ちにしています。何不自由なく大学に通えるのも、私たち家族を支援してくださっている御団体や、周囲の方々の優しさがあったことだと、感謝しています。特に映画チケットのプレゼントの企画は、家族で過ごした楽しい思い出の一つです。

いただいた優しさは、いつか困っている人たちに返していけるような社会人になれるよう、今後も勉強を頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

♡お母さまより

長い間、ありがとうございました。3人の子供が中1、小5、小1の時に夫を交通事故で亡くしました。その日朝まで元気だった夫でしたから、何事もなく子供たちが成人するまで元気に過ごせると思っていました。

母子家庭になり、不安でいっぱいになってしまったのが昨日のことの様です。長男、次男は大学を卒業して社会人となり、この度長女も大学生になり一人暮らしをしています。不安なく教育を受けさせてやれたこと、子供たちにとっても私にとっても大きな心の財産となりました。ありがとうございました。



## 匿名希望さん（母）

本日、長男の育成基金完了のお知らせをいただきました。長い間ご支援いただき、心からお礼を申し上げます。

事故当時、長男はまだ小学2年生、長女は未就学児で、1人で子供たちを育てていくことに不安しかありませんでした。10数年の間にも東北大震災や今回の新型コロナウイルスの流行、自分自身の病気など大変なこともありましたが、そのたびに子供たちの明るさや生きていく強さをもらい、親である私が励まされております。色々かつらいこともありましたが、この子供たちを残してくれた夫に感謝です。

長女の基金卒業まであと数年お世話になりますが、よろしくお願いいたします。

## 三重県

### Sさん（祖母）

長い間、ご支援ありがとうございました。

次女が亡くなり未成年後見人としてのお役目も、あと数年で終わりです。その間、基金からの給付金、支援金そして何よりスマイルズのLettersに何度励まされたことか。残された家族の私たちが泣いては、天国の娘が悲しむと思い、毎日毎日を明るく暮らしております。

今までお世話になった皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

## 岐阜県

### 匿名希望さん（母）

いつもお世話になっております。少し遅くなりましたが、娘は無事この4月に中学校へ入学することができました。この度は橋本給付金のお祝い金をいただき、本当にありがとうございました。

思いがけないお金がかかり、制服、体操服、シューズと人並みに揃える事が出来、本当にありがたく感謝しています。頂いたお金は大切に使用させていただきます。そして、娘がもっと成長した時には、こうして皆様に助けていただいた事のありがたさを理解し、今度は人の役に立てるよう、立派に成長してほしいと願っています。ありがとうございました。



## 匿名希望さん（母）

給付完了のお知らせをいただき、誠にありがとうございます。

ただただ普通に暮らしていた日々、まさか自分が交通事故の遺族になるなんて思ってもいませんでした。まさか夫が事故に遭うなんて、まさか一人で子育てをするなんて。まさかの連続でしたが、それでもやってこれたのは子供を一人前に育てなければ、という義務感からでした。

反抗期や進路の悩みなど、子育ては楽しいことばかりではありませんでしたが、冊子が送られてくるたび、基金を完了された方や、保護者の方の声が胸に染みました。いつかこの日が来るのだから、子供と一緒に生活できる日々を大切にしようと思えました。

本当にありがとうございました。



## 奈良県

### K・Mさん（母）

このたびは、お祝い金をいただきありがとうございました。

突然の出来事から7年と少し、必死で頑張ってきました。私にずっとくっついてきた子供も、今年から中学生になります。母子家庭だからと言って諦めることなく、人並みに塾に通わせたりしてやれたのも、基金のおかげと心から感謝しております。

これからますます教育費がかかると思いますが、基金を頼りにきちんと教育を受けさせてやろうと思っています。

本当にありがとうございました。



## 東京都

### Y・Aさん（母）

先日は特別給付金のご送付ありがとうございました。子供が新一年生となり6月からやっと授業が開始となりましたが、まだまだリズムがつかめず2人で頑張つつ、疲れて休みつつ…の日々です。いただいたお気持ちを励みに過ごしていきたいと思っています。

